

<白金標準：4200 円割れで底固めの週>



(出所：オアシス)

今週の白金標準先物は、先週に米中の好調な経済指標の発表を受け、景気商品である白金標準先物は景気回復、需要期待から買われました。そのため高値 4378 円から 315 円の下落で止まると、週末には 4240 円まで黄金比で示す 0.5 の戻りである 177 円を達成しています。そのため一時的な達成感の利益確定に押される可能性は高く、4200 円割れには注意したい週です。しかし 27 日に新甫発会を控え、限月乗り換えのポジション調整が終わると 4378 円に向けた動きが強まる事から、4200 円以下はロングポジションを多様化する水準と思えます。

<テクニカル>

MACD では、MACD がシグナルを下回りながら、弱気の域の手前で下げ止まりを示し、シグナルの下落で MACD とシグナルの乖離を示す弱気のヒストグラムが縮小しており、4 月前半と同様に 10 日移動平均線が位置する 4227 円を終値ベースで上回った場合は、MACD とシグナルの買いサインが発生する確率が高まると予想され、MACD がシグナルを超えるクロスで新規買いと判断する。

<データー>

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロインオンス) : 691839 (先週比 : +3602)

白金ETF残高 (トン) : 75.44 (4月14日現在)